



黙働清掃（もくどうせいそう）～天童市立第四中学校の誇り～

先月の2日、第109回山形掃除に学ぶ会年次大会が、天童市立第四中学校を会場に県外からも含め300余名の参加をいただき開催されました。

天童四中では「黙働清掃」という取り組みを続けているすばらしい中学校で、私どもの学ぶ会も大いに学ばせていただいた大会でした。

黙働清掃とは毎日の清掃を15分間、一切おしゃべりをしないで清掃する活動で、効果として「集中力」「忍耐力」「工夫」「気配り」などの向上が期待され、近年、全国の小中学校に広がる取り組みのことで。

“やらされる清掃”から“自らする清掃”への取り組みは、みんなの心を一つにし、文字どおり声なき声を聞きながら、行動で協力しあう意識改革につながり、教育面からは予想以上の効果が出ているとのこと。

手順は、始めに黙々と持ち場の掃除を行います。雑巾かけは「水平直角」拭き残しの無いように意識しています。持ち場が終れば、換気口の隙間や、引き戸のレール、光採りの高窓などを各自仕事を見つけ15分間目いっぱい作業します。終わりの会では、声に出して気付いた情報を皆で共有するのです。

も 黙働清掃は、床磨きを通して、
「く じけず我慢する心」
「ど こでも汚れを見つける心」
「う つくしい、親切の心」
を磨きます。

天童市立第四中学校 1階 黙働清掃コーナーより



天童四中での黙働清掃は、学校をどのように変えたか…教頭先生のコメントです。

「学校生活の中に一所懸命元気を出してやることと、静かに黙々とやることのメリハリができ、驚くほど教育上の効果が出てきている。また、教職員の

清掃活動にも意識がかわり、美化活動に積極的に取り組むことで学校が綺麗になり、教育現場の環境が著しく善くなった…」参加者の皆さんからも「黙働」を教育の1つの柱にしている中学校の大会に参加できて、とても良かったです…というご意見を沢山いただきました。又、これまでの掃除の場を提供して下さった学校では考えられなかった、校長先生自身で私共の掃除の様子を撮影して、直後の閉会式でも音楽と説明付きのDVDを披露してくださいました。私共への温かい心配りに感激したところでした。

田中会長からは「山形掃除に学ぶ会の進化は素晴らしいものでした。来年の全国ブロックでの掃除研修に本部派遣として参加していただきたい…」とお褒めの言葉もいただきました。

これからも「山形掃除に学ぶ会」は鍵山相談役の掃除哲学を一人でも多くの人々に伝えるべく活動を継続して参ります。



黒沼範子

